

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301116
事業所名	ハピネス吉根

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣を散歩する事で地域の人と顔馴染みとなり、地域の人子どもと一緒に来訪して利用者と交流している。また、地域の人から介護相談や施設入居する方法などの相談を受けることもある。自治会の秋祭りや防災訓練に参加しており、地域に根付いて来ている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 偶数月で年6回開催している。会議は行事報告を行い、その後看取りについてや介護保険改正など福祉に関する事を話し合っている。出席者から認知症を理解するため勉強したいと提案があり、事業所に来訪して現状を見て貰ったり助言をもらうなど行っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護課の職員が定期的に利用者に会いに来ている。その時に職員は利用者に関する事で相談や助言を貰っている。利用者が養護老人ホームから事業所に入居する手続きを、介護保険課職員と連携を取り行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族にケアプラン作成時に要望などを書いてもらえる様にアンケートを出している。アンケートに出された要望は必ず職員間で話し合い改善して、家族に返事を出している。毎月、日頃の生活の様子がわかるスナップ写真付きの「ハピネス通信」を家族に送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				